

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第3学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	基礎的な言語事項の習得 ・語彙を増やし、自分の考えや気持ちを正しく伝えること 書く力・読み取る力の育成 ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読み、自分の考えを書くこと ・聞く力の育成	・国語辞典を国語の授業や他教科、家庭学習等でも活用する。 ・自分の考えを書く活動を積極的に設定する。 ・お互いの考えを聞く機会を十分に設ける。	・国語辞典の活用を推進したことで、付箋を付けながら意欲的に調べる習慣が身に付いてきている。また、タブレットを活用して語句調べをする児童も増え、辞書とタブレットを併用しながら語彙を増やす姿が見られるようになった。 ・話の聞き方の基本を提示し、繰り返し指導することにより、聞く力が育った。
社会	資料活用 of 技能の育成 ・地図や写真、グラフなどの資料を活用して、市の様子について必要な情報を集め、読み取る	・資料活用の基礎的な力を身に付けるために、様々な資料に触れさせ、地図の見方や資料の使い方を示し、分かったことを基に考えさせるようにする。	・基本的な資料を正しく読み取ることを意識できるようになってきている。 ・さらに多様な資料を提示しながら学習を進めることで、様々な資料の読み取り方や目的に合った使い方を指導していく。
算数	基礎・基本の定着 数学的な考え方の育成 ・問題の意味を理解し、演算を決定する。 ・図や式などを使って自分の考えを表し、自力で解決する。	・考えるための図や表などを例示して、問題の意味を理解できるようにする。(タブレット、プロジェクター) ・自力解決の時間を十分に確保する。	・自分の考えを進んで発表し、数学的に説明しようとする姿が多く見られるようになった。 ・数学的な考え方を高めていくために、式を図に表して考えていくことを繰り返し指導する。 ・演算決定をして自力で解決する力に差が見られる。
理科	科学的な思考力の育成 ・事象提示から問題を見出すこと ・観察、実験において、差異点に気付くこと	・児童に気付かせたいことを考えて事象提示をする。 ・身近な自然の事物や現象を比較しながら実際に調べる活動を重点的に行う。	・観察や実験を意欲的に行うことができたが、何を調べるための観察、実験かを理解できていない児童が多い。 ・問い、予想、実験、結果、考察、まとめの一連の流れが定着してきている。 ・問いと実験結果を結び付けることができないため、考察ができない児童が多い。
音楽	・曲の特徴を捉えた表現を工夫し、思いや意図をもって表現するための技能の育成 ・曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く力の育成	・どのように演奏したいか思いや意図をもたせるような言葉かけをする。 ・歌唱や器楽の基礎基本を繰り返し指導したり、学習形態を工夫したりする。 ・曲の雰囲気や表情を感じ取り、全体がどのように形作られているかを捉えながら聴かせる。	・思いをもって、のびのびと歌ったり、楽しそうに演奏したりする様子があった。 ・音楽会を通して、心を合わせて演奏する楽しさを味わわせることができた。 ・音楽の要素など明確にして聴かせることで、楽曲のよさやおもしろさに気付いて聴ける児童が増えた。
図画工作	・基本的な道具の用途や扱いを理解し、正しく扱う力の育成 ・感じたことを元に、自分の思いで表現しようとする力の育成	・はさみ、絵の具の他に、カッターナイフ、金づち、布、粘土など様々な道具や材料を扱う題材を取り入れ、それぞれの特徴や良さを理解して使えるようにする。 ・思いや考えを共有する時間をとり、自分なりの考えをもてるようにする。	・カッターナイフやノコギリ、金づちの初期指導を行った。道具の扱いについて繰り返し扱う題材を取り入れることで意欲的に取り組むことができた。 ・お互いの作品を見せ合う時間をたくさんとることで、表現の良さを感知し今後も自信をもって表現することを楽しめるようにする。
体育	きまりを守り工夫して運動する態度の育成 ・ルールを守り、友達と協力して運動すること ・自分なりの課題をもち、基本的な技能を向上させようとする。	・スモールステップ型の学習カードや学習過程を活用して、自分の課題をもてるようにするとともに、映像などを活用しながら手本を示し、技能向上のポイントが分かるようにする。	・ルールを守り、友達と仲良く活動することができた。 ・自分に合っためあてや課題を児童が選ぶことが難しかった。 ・映像やワークシートを活用し、技術の向上を図ることができた。
道徳	・自分の気持ちや考えを表現すること。 ・相手の立場に立って考えて行動すること。 ・道徳的価値について本音で自分の考えを伝え合い、対話すること。	・他教科や日常的に友達と関わる経験ができる活動を多く設定し、自分の言動を振り返る機会を設ける。 ・自分の考えを表現したり、近い考えを見付けられるようにする。	・自分の言動を振り返ることができる児童が増えた。 ・相手の立場に立って考えることが難しい児童もいるため、学校生活の中で継続して指導していく。
外国語活動	・自信をもって外国語を活用しながら友達と関わろうとする意欲の向上	・日常的にキーフレーズに触れる機会を設ける。(週に2回) ・ALTや担任、友達とコミュニケーションを図る場面を1時間中、1度は設ける。	・楽しく外国語のフレーズを使い、学習することができた。 ・毎時間繰り返し、調子を尋ねる表現と天気を尋ねる表現、曜日を指導し自信をもって言える児童が増えた。 ・自分のこと(好きなもの)について外国語で伝える力が育った。
総合的な学習の時間	・見つけた問いについて詳しく調べる計画をたて、集めた情報を整理・分析し、それらをまとめ、表現する力の育成。	・見つけた問いに対して、どのように解決できるかを自分たちで話し合わせ、進めていくようにする。教師は大枠の計画を基に、子供の願いを受け、課題解決に導く支援をしていく。	・問題→情報収集→整理→分析→まとめの探求プロセスが身に付いた。 ・自分の課題にあった情報を見付けたり、選べたりできるよう、継続した指導が必要である。

